



各地に出かけるので見物ができてよいですねとか、各地のご馳走が食べられてよいですねなどといわれることがあるのですが、観光旅行ではないので見物はほとんどしないのです。自分で見に行ったのは北海道では摩周湖、台湾はこれも近くまで行ったので、台湾最南端ガランピー灯台ぐらいのものです。朝から晩まで、速記、速記、速記で動き回ったものでした。ご馳走は人から招待を受ける以外は自分で食事するのでいたって簡単なものです。

昭和七年、初めて台湾に講演に行った時は清浦伯爵から台湾総督府の平塚総務長官（副総督格）にご紹介していただき、全島を講演して回り、最後には週三回ずつ、四週間、全島ラジオ放送をしました。毎日講演を続けるのですが、一日十三時間も講演講習などやったのが二カ月間続いたときなど、足が棒になるということばがあるのですが、棒どころではなく、生汗が出るくらいでした。食事は会場から会場へ移動する人力車の中で簡単にすませたこともたびたびでした。日程は自分でつくりながら行くのですから、朝から晩まで速記、速記の時間でした。観光旅行で台湾まで行ったのではないので、余裕があるときは日曜でも各学校で練習会を開いて回ったのです。そのため翌年から台北商業など全国大会に参加するようになったのです。